

## ～ あんきな街なか講座(まちゼミ) ～

商店街の店主が専門知識を生かした講座を無料で開催する「まちゼミ」を岐阜県下で初めて実施。それぞれのお店の特徴をアピールするとともに、参加者との交流を通じて商店街・個店のファンやリピーターを増やすことを目指した。

所在地：岐阜県高山市天満町5-1  
 TEL：0577-32-2550 FAX：0577-36-0356  
 URL：<http://www.takayamashishouren.net/>  
 会員数：9 所属員数：339名  
 商店街の種類：近隣型商店街の連合体

## 商店街の概要と事業を実施した背景

高山市中心部の鍛冶橋交差点を中心に東西南北に広がる9つの振興組合が会員。地域住民だけでなく国内外の観光客も多く、日常の最寄り店が中心だが、観光客向けの飲食店や土産物店が増えている。

会員商店街では、中心市街地の居住者の減少、郊外大型店への消費の流出等により、売り上げ減少、空き店舗の増加が課題となっている。そこで、個店の専門性や特色をアピールするとともに、商店街のイメージアップを狙ってまちゼミを開催した。

## 実施した事業の概要

## 【まちゼミの開催】

商店街を舞台にしたまちゼミは全国で開催されているが、岐阜県内では高山市が初めてとなる。「あんきな」は飛騨弁で「気軽な」の意味があり、誰でも気軽に参加してもらえることを狙った。

今回の参加店は23店にのぼり、1ヶ月にわたり25講座を46回開催、279名の参加があった。開設講座も小売店のほか、美容、金融、ペットサロンといったサービス業も加わり、バラエティに富んだ充実したものとなった。ゼミの内容も「知っているようで知らない空気の入力方、自転車の乗り方：自転車店」「医食同源～健康で長生きするための食事のはなし：薬局」、「かわいいわんちゃんのお手入れのコツ：ペットサロン」、「フルーツカッティング：食品店」等多彩なメニューで好評であった。なかには、すぐに予約満員となり、80名以上が参加できない講座もあるなど大変な盛況であった。

告知は、チラシを新聞に折込みするだけでなく各店舗や市役所、図書館等に設置した。また、市や商工会議所の広報誌、フリーペーパー掲載、ケーブルTV、ラジオ、記者発表等を利用して広域に告知し、無料で興味ある講座を受講できるメリットをアピールしたことが集客につながった。



## 成果と成功の要因

本事業の実施により、個店では来店客が増え、商店街の歩行者通行量も当初想定した数値を上回った。ゼミ参加者からは終了後に、ゼミ内容の要望や次回の開催の問い合わせも多くなるなど、店主とのコミュニケーションが進んだ。各店主も今回の成功により次回の開催を待ち望むなどモチベーションが高まった。また、参加店同士で、講座内容等について忌憚のない意見を出すことでお互いのつながりが深まった。

今回の事業を成功裏に実施できたのは、まちゼミを通して商店街に人を呼び戻すことを目的に、各商店街有志を中心に組織された実行委員会の存在が大きい。まちゼミ発案者を4回高山市に招き、ノウハウや事例、各商店の個別相談などのアドバイスを受けながら入念に準備を進めた。実施に当たっては、自分が先生になるのは無理などの店主からの意見等の課題を一つ一つ克服しながら開催にこぎつけた。



## 今後の取り組み

今回の事業を通じて店主は確かな手応えを感じており、個店のみではなく商店街への効果も大きいことから、まちゼミは今後も継続する予定である。実施に当たっては、事業終了後に回収したアンケートをもとに、開催時期や曜日、日時等を工夫することを考えている。

また、未参加だった個店にも働きかけて講座数を増やし、参加費収入等で告知の費用を確保することとしている。